現代政治理論（現代日本政治経済分析）

東京大学 教養学部教養学科

社会科学研究科 植渡展洋

本講の目的は、現代日本という素材が、政治学でいう政治経済の諸議論の理解の深化にどのような貢献をもたらすかを考えることにある。特に、通常「経済の国際化」と「冷戦の終焉」と称される、国際政治と国際経済の変動が、各国の国内政策および対外政策をどう変化させ、その結果、どのような国内政治変動と国際的（国間、地域的、および多角的）政策レジームを形成させるかを考察する。本講は講義とゼミ形式を組み合わせ、参加者は教材を読んでいることを前提する。教材の内容の確認と教材の関連づけは当方である程度議論を誘導したり、補足説明をしたりするようなろうが、教材に関する積極的で自由な議論への参加を奨励することには変わりがない。

第1週 問題関心・論点の紹介 / 打ち合わせ

戦後先進国の政治経済体の特質と日本

第2週 戦後先進国の政治経済秩序と日本


第3週 戦後先進国政治経済体の類型と日本（1）：“小国”・コーポラティズム論


第4週 戦後先進国政治経済体の類型と日本（2）：“開発国家論


第 Ⅲ 項 経済国際化と政府の政策対応


第 Ⅳ 項 日本の政策対応と政党政治の変容


第 Ⅴ 項 日本の政策対応と国際秩序

第 Ⅵ 項 金融の国際化と国際的規制


第 Ⅶ 項 日本の政策対応とアジア太平洋国際経済秩序


